

大垣西濃信金と商工中金

協調融資で連携覚書

大垣西濃信用金庫は28日、商工中金と協調融資の業務で連携・協力する覚書を結んだ。協調融資を検討する地域企業の情報交換や管理ノウハウの共有を通して、共同主幹事として中小企業の資金調達を支える体制を整える。

コロナ禍の終息を見据えて、中小企業の資金需要が高まる中、政府系金融機関として協調融資の組成で実績のある商工中金と連携すること、これまで対応できなかった規模の大口融資を引き受けられる仕組みを整える。

大垣市内の同金庫本部で調印式があり、栗田順公理事長は「協調融資のノウハウや人材が不足していた。両金融機関の特性を生かすことで、単独では対応できない案件に応じられる」と期待を込めた。商工中金岐阜支店の一ノ瀬浩道支店長は「メインバンクと共に、協調融資という形で資金調達の役に立てれば」と話した。



覚書を交わす栗田順公理事長（左）と一ノ瀬浩道支店長。大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本部